# 第2回 旭川駅周辺かわまちづくり懇談会

## 説明資料

令和4年8月24日

旭川市

# （１）前回懇談会の振り返り

# 計画申請までのスケジュール（案）

| 懇談会・関係機関協議等 | 各種検討 |
| --- | --- |
| 第1回懇談会【令和4年5月31日】<br>・水辺とまちづくりに関する基本方針の確認<br>・ソフト施策、ハード施策、推進体制等に関する意見交換 | 事務局で水辺とまちづくりに関する基本方針、ソフト施策、ハード施策の素案を検討。<br>意見交換結果を踏まえ、事務局で施策内容や体制案を精査。 |
| 第2回懇談会【令和4年8月24日】<br>・ソフト施策、ハード施策の確認<br>・推進体制、年次計画に関する意見交換 | 意見交換結果を踏まえ、9月末を目途に施策内容を決定し、10月末を目途に計画書原案を作成。 |
| 第3回懇談会【令和4年11月予定】※事前ヒアリング前に実施<br>・かわまちづくり計画書原案の確認 | 必要に応じて事務局で計画書原案を修正。 |
| 事前ヒアリング【令和4年11月】 | 事前ヒアリングでの指摘事項を踏まえ、必要に応じて事務局で計画書原案を再修正し、12月を目途に計画書最終案を作成。12～1月にパブリックコメント（意見公募手続）を実施 |
| 第4回懇談会【令和5年2月予定】※パブリックコメント後に実施<br>・パブリックコメント報告<br>・次年度懇談会の進め方に関する意見交換 | |
| 計画申請【令和5年5月】 | 必要に応じて計画書最終案を修正 |

# 前回懇談会での主な意見と反映状況

| 整備・利活用メニュー | | 反映状況・対応方針 |
|---|---|---|
| 案内看板・標識 | サイクリングコースガイドの整備 | 関係機関と協議を進めながら、ソフト施策（案）「①広域的なサイクリング・フットパスコースの設定」による取組を検討 |
| 多目的利用 | 拠点間の利用形態の検討 | ソフト施策（案）「②新たなイベント・アウトドア利用の企画」「③冬のアクティビティプランの設定」に反映 |
| | サイクリング観光コースの設定 | ソフト施策（案）「①広域的なサイクリング・フットパスコースの設定」に反映 |
| | 冬のアクティビティイベントの実施 | ソフト施策（案）「③冬のアクティビティプランの設定」に反映 |
| | 地元小中学生を対象とした環境教育 | ソフト施策（案）「④水辺空間を活用した環境教育の推進」に反映 |
| ルールづくり | 子どもの安全利用 | ソフト施策（案）「④水辺空間を活用した環境教育の推進」「⑥安全・安心な水辺利用に関するルールづくり」に反映 |
| | 利用ルールの周知 | ソフト施策（案）「⑥安全・安心な水辺利用に関するルールづくり」に反映 |
| 水辺整備 | 治水面を考慮した整備 | 必要に応じて河川管理者が検討・実施 |
| | 神楽岡公園における良好な河原環境の創出 | 必要に応じて河川管理者が検討・実施 |
| 親水施設 | 子どもが水と触れ合うことのできる空間の整備 | ハード施策（案）「①親水広場」に反映 |
| | ラフティング発着場の整備 | ハード施策（案）「①親水広場」に反映 |
| 利活用拠点 | 利活用拠点の整備（ツインハープ橋） | ハード施策（案）「①親水広場」及び「②取付道路（拡幅）」に反映 |
| 維持管理 | 民間の知恵やノウハウを活用した管理 | 関係機関と協議を進めながら検討 |
| 運営体制 | 官民の情報共有による運営体制の構築 | 推進体制（案）【目指す姿】に反映 |
| | アクティビティ事業者の育成 | 関係機関と協議を進めながら検討 |
| その他 | ターゲット層（地元、道内外観光客）の設定 | ソフト施策（案）「⑤ICTを活用した情報提供」による事業を展開（創出事業と対象等について関係機関と協議を進めながら検討） |
| | 野生動物との共存 | 関係機関と協議を進めながら検討 |

# 水辺とまちづくりに関する基本方針

地域特性に基づく、①北海道内の基幹サイクリングルートの中心、②旭川駅から観光施設（旭山動物園）までのサイクリング利用、③忠別川を活用したアクティビティの3つの観点を踏まえ、旭川駅を中心として「かわ」と「まち」を結ぶことを基本方針として、既存計画と整合を図りながら整備・利活用を推進していく。

北海道サイクリングルートの中心

旭川駅から旭山動物園までのサイクリング

忠別川を活用したアクティビティ

**【目標】**

ＪＲ旭川駅を拠点として、忠別川・牛朱別川の地域資源を活かした
水辺整備・利活用による観光・教育・スポーツなどを通じた新たなまちの賑わいづくり

**― 河川空間とまち空間をつなぐ良好な空間形成 ―**

- 観光動線の形成による忠別川・牛朱別川における新たな観光価値の創出
- 自然豊かな市民の憩いの場の創出と、郷土愛の醸成
- 都心空間の整備と回遊性の向上による関係人口・交流人口の拡大（地域経済発展）

＜誰のために＞

- 地元住民
- 観光客（道内・道外）
- 修学旅行生
- 旭川を愛する人

＋

＜どこで＞

- 水辺空間（忠別川・牛朱別川）
- JR旭川駅
- 周辺地域

＋

＜何をする＞

- 水辺の利活用
- 周辺地域との連携
- 歴史文化の発信
- 環境教育

# （2）ソフト施策・ハード施策（案）

# 整備・利活用の全体イメージ（案）

# ソフト施策（案）

地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による忠別川・牛朱別川水辺空間の魅力向上を図ることにより、地域に愛され、観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指す。

## ①水辺を周遊する広域的なサイクリング・フットパスコースの設定

散策やサイクリング等、様々な志向の人が気軽に利用できるよう、忠別川―JR旭川駅―牛朱別川―旭山動物園等の観光交流施設をつなぐ多様なアクティビティのモデルコースを設定する。

【例】初心者・中上級者向けのサイクリング・ジョギング・ランニング等推奨コースの設定（コースマップの作成）

## ②忠別川・牛朱別川の水辺空間での新たなイベント・アウトドア利用の企画

地域の歴史・文化や市民のニーズを踏まえ、JR旭川駅や地域と連携して、水辺空間を活用した新たなイベント・アウトドア利用を企画する。

【例】夏の灯篭流し・いかだ下り
【例】キッチンカーによる飲食販売、水辺ヨガ体験、演劇、デイキャンプ
【例】橋梁へのプロジェクションマッピング

## ③冬のアクティビティプランの設定

河川管理用通路等を活用したファットバイクやスノーランニング等、ニーズに沿った多種多様な冬のアクティビティを推進する。

【例】河川管理用通路沿いのアイスキャンドル（あさひかわ街あかりイルミネーションの水辺への拡張）
【例】堤防沿いの緩斜面を利用したそり滑り（地元幼稚園・保育園との連携）
【例】日常的に利用可能なファットバイク・クロスカントリースキーコースの設定（コースマップの作成、使用器具のレンタル）

# ソフト施策（案）

地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による忠別川・牛朱別川水辺空間の魅力向上を図ることにより、地域に愛され、観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指す。

## ④水辺空間を活用した環境教育の推進

小中学生が川と触れ合いながら、川の歴史・自然やアイヌ文化を学ぶ環境教育を推進する。

【例】忠別川の歴史・自然を学ぶ体験学習の連続講座（（仮称）ちゅうべつ川塾）
【例】川流れ、流水歩行体験、河川管理者と連携した水防講座
【例】水辺でのアイヌ文化体験教室（川村カ子トアイヌ記念館との連携）

## ⑤ICTを活用した情報提供

SNSやインターネットコンテンツ等により、忠別川・牛朱別川の水辺利用モデルコースや川の自然やアイヌ文化に関する情報提供を行う。

【例】旭川駅周辺かわまちづくりのFacebook、Twitter、Instagramアカウント作成（かわまちづくり等に関する定期的な情報発信）
【例】サイクリング・ラフティング利用動画のYouTubeへの投稿
【例】かわまちづくり関連サイトQRコードの発信（コースマップ、地元広報誌等への掲載）

## ⑥安全・安心な水辺利用に関するルールづくり

忠別川・牛朱別川沿いの河川管理用通路における歩行者と自転車の分離、水辺アクティビティの利用ルール作りを行うとともに、看板等による注意喚起・周知を行う。

【例】ルールの明確化（河川で想定される行為と関連法令等の確認に基づく利用ルール（ガイドラインの策定）
【例】利用ルールのPULL型・PUSH型情報発信による周知（周知看板、出前講座、新聞広告への掲載、自治会回覧板等）

# ハード施策（案）

忠別川については、既設の駐車場・駐輪場・公園施設等を有効活用し、JR旭川駅南口を旭川観光のゲートウェイ、ツインハープ橋付近をサイクリング・ラフティング等のアクティビティの利用拠点として位置づけ、水辺空間の利便性向上・新たな付加価値の創出に資する整備を行う。

牛朱別川については、JR旭川駅南口と旭山動物園を結ぶ重要な観光動線として位置づけ、サイクリングの利便性向上に資する整備を行う。

**①親水広場【国：忠別川】**

水辺で川と触れ合い水遊びができる空間として、JR旭川駅南口、神楽岡公園及びツインハープ橋付近の忠別川に親水広場（緩傾斜路等）を整備する。

**②取付道路（拡幅）【国：忠別川】**

忠別川右岸のツインハープ橋上流の既設駐車場に観光等で利用されている大型バスが乗り入れできるよう、既設の取付道路を拡幅する。

**③橋梁標示【国：忠別川】**

ラフティング等の水辺アクティビティ利用者が現在地を確認しやすいよう、JR旭川駅南口～ツインハープ橋間に架かる橋梁の桁に橋梁名を標示する。

**④路面標示【国：牛朱別川】**

牛朱別川左岸の河川管理用通路に、JR旭川駅や旭山動物園までの距離や進行方向に誘導するためのピクトグラムを標示する。

**⑤案内看板【市：忠別川】**

JR旭川駅南口及びツインハープ橋付近に，北海道内の基幹サイクリングルート及び忠別川・牛朱別川サイクリングコースの案内看板を設置する。

# 整備イメージ（案）【忠別川①】

航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

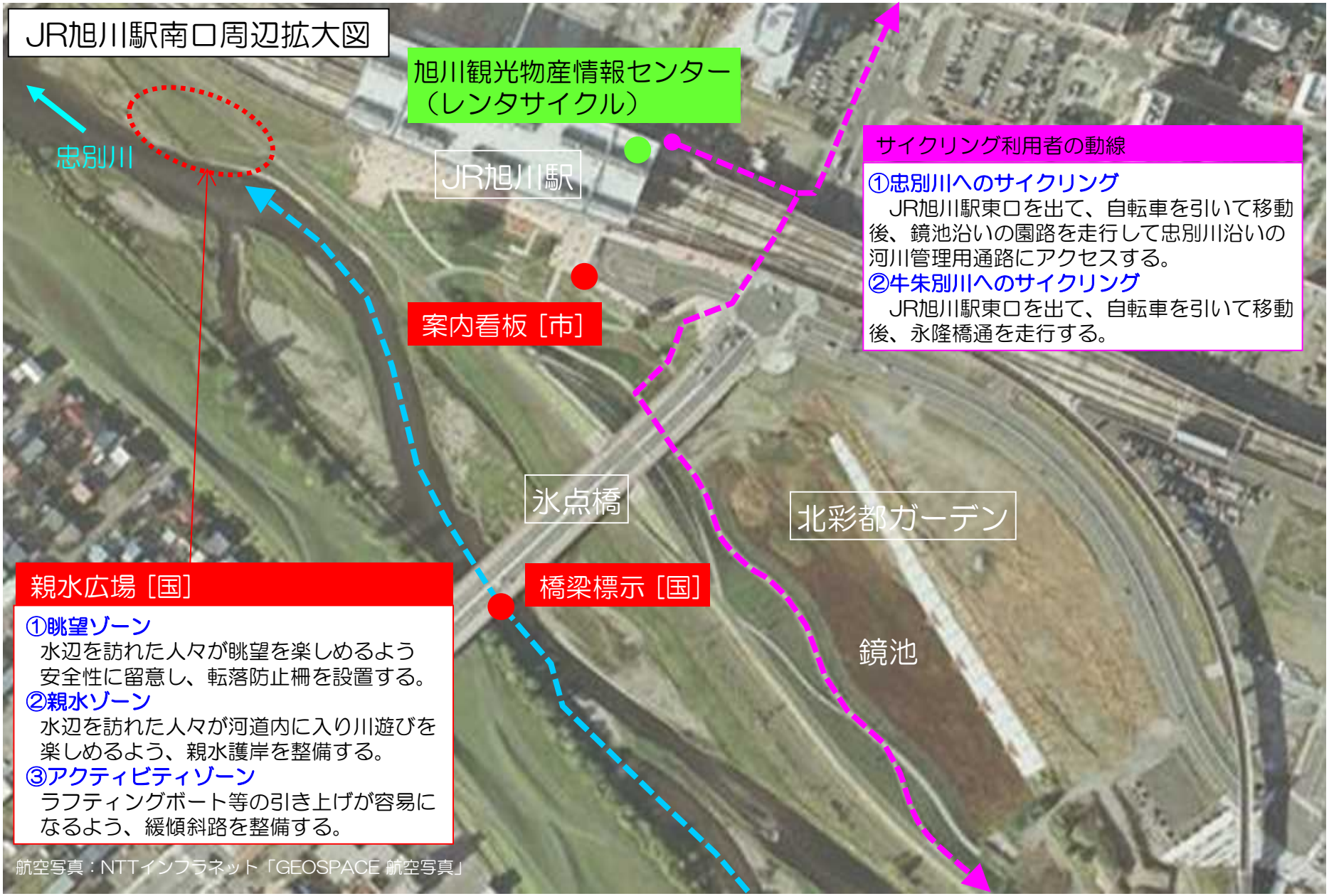
**親水広場［国］・・・水辺の親水性向上**

水遊びやラフティング発着ができるよう、JR旭川駅南口付近に緩傾斜路・親水護岸を整備し、水辺への誘客を図る。

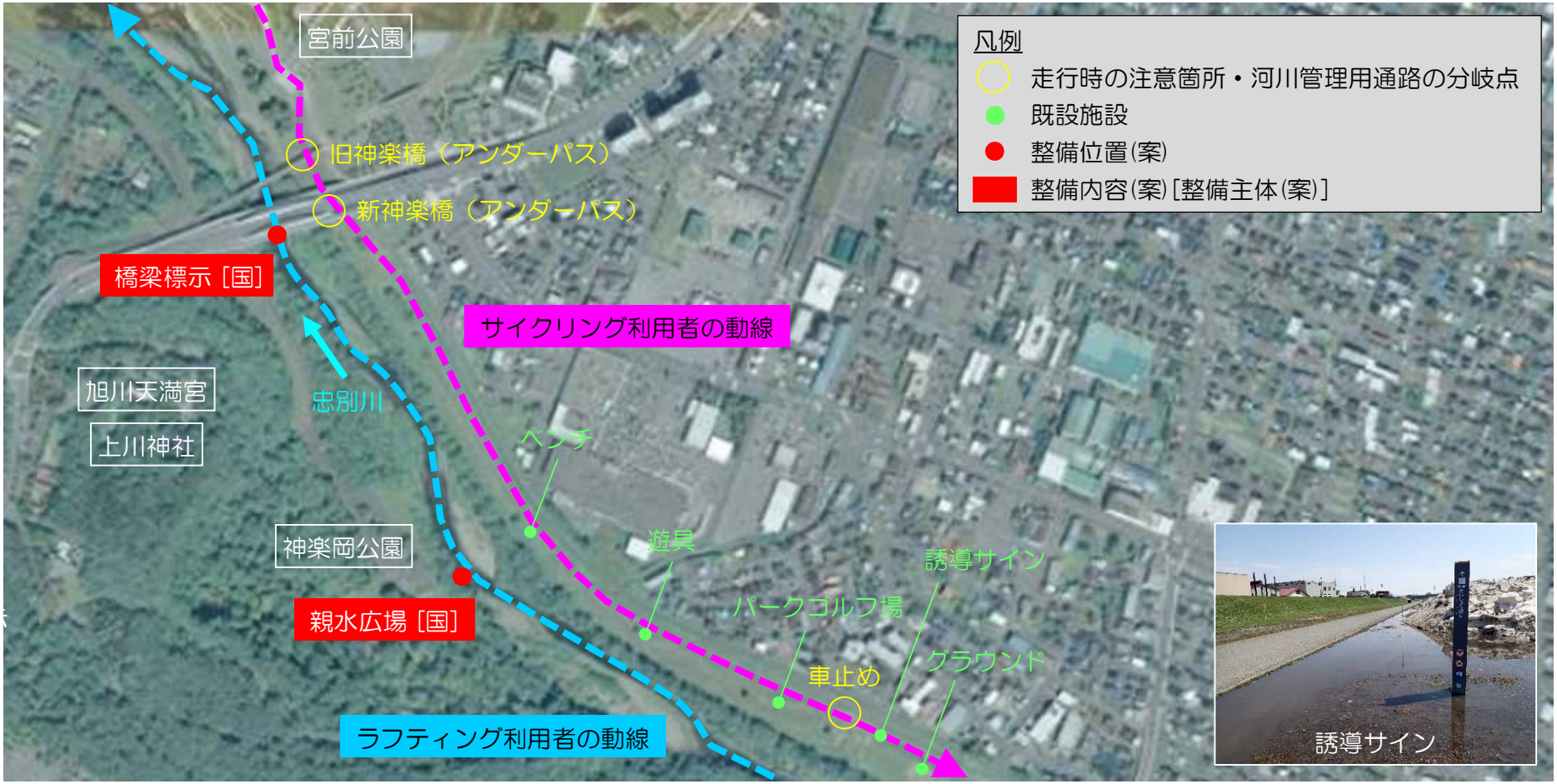
**案内看板［市］・・・サイクリング・ラフティングコースの周知**

JR旭川駅南口及びツインハープ橋付近に、北海道サイクリング8ルート及び忠別川・牛朱別川サイクリングコースを紹介する案内看板を整備する。

# 整備イメージ（案）【忠別川②】



# 整備イメージ（案）【忠別川③】




航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

橋梁標示［国］・・・水辺アクティビティ利用時の視認性確保

ラフティング等の利用者が現在地を確認しやすいよう、JR旭川駅南口～ツインハープ橋間に架かる橋梁の桁に橋梁名を標示し、視認性を確保する。

親水広場［国］・・・水辺の親水性向上

水遊びやラフティング発着ができるよう、忠別川左岸の神楽岡公園付近に、緩傾斜路・親水護岸を整備し親水広場として活用し、水辺への誘客を図る。

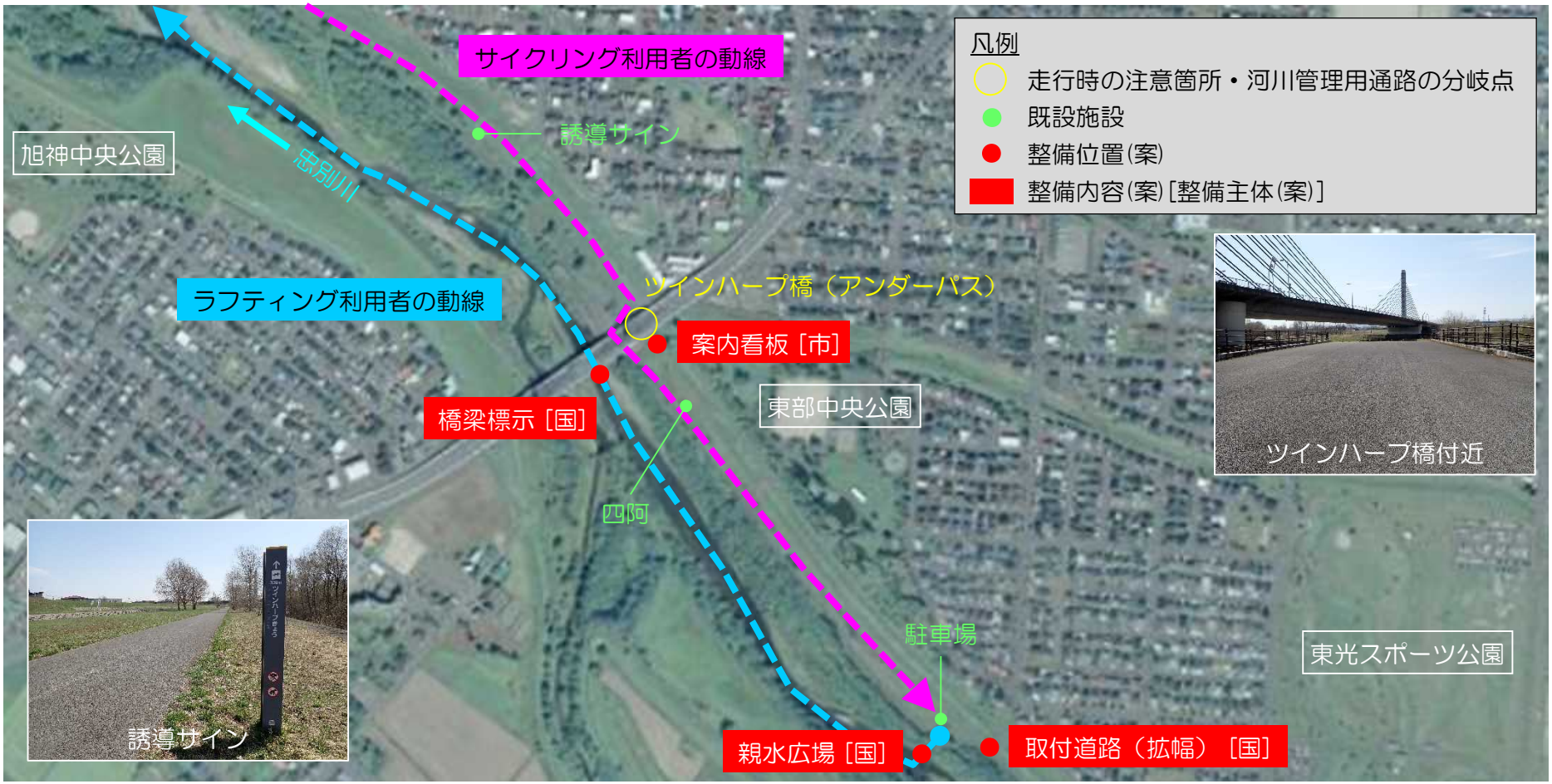
# 整備イメージ（案）【忠別川④】

航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

橋梁標示［国］・・・水辺アクティビティ利用時の視認性確保

ラフティング等の利用者が現在地を確認しやすいよう、JR旭川駅南口～ツインハープ橋間に架かる橋梁の桁に橋梁名を標示し、視認性を確保する。

# 整備イメージ（案）【忠別川⑤】




航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

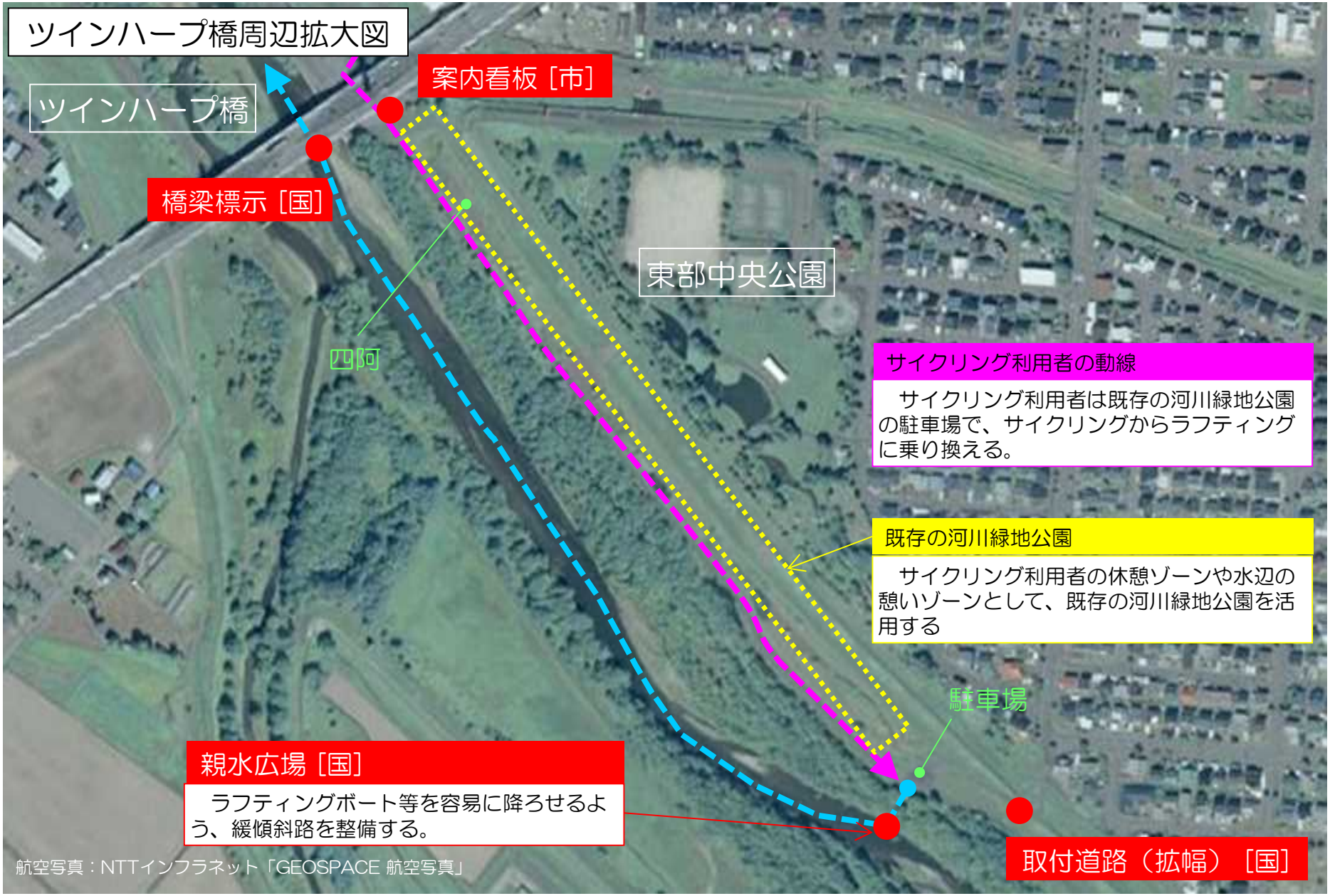
親水広場[国]・・・水辺の親水性向上

ラフティング発着ができるよう、忠別川右岸のツインハーブ橋上流に緩傾斜路を整備し、水辺への誘客を図る。

取付道路（拡幅）[国]・・・水辺へのアクセス向上

観光等で利用されている大型バスが河川敷に乗り入れできるよう、忠別川右岸のツインハーブ橋上流の既設取付道路を拡幅する。

# 整備イメージ（案）【忠別川⑥】



# 整備イメージ（案）【牛朱別川・愛宕新川①】

凡例
- 走行時の注意箇所・河川管理用通路の分岐点
- 既設施設
- 整備位置(案)
- 整備内容(案)[整備主体(案)]

牛朱別川
堤防へのアクセス通路
永隆橋（アンダーパス）
誘導サイン①
サイクリング利用者の動線
路面標示［国］
中央橋（アンダーパス）
新旭橋（アンダーパス）
誘導サイン②
牛朱別川JR橋梁（アンダーパス）
日の出橋（アンダーパス）
誘導サイン③
新成橋（アンダーパス）
誘導サイン④
至　旭川駅
誘導サイン①

航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

路面標示

路面標示［国］・・・サイクリング利用時の視認性向上

堤防から水辺への河川管理用通路の分岐箇所に、視認性の良好な路面標示を整備し、サイクリング利用者を確実に誘導する。

# 整備イメージ（案）【牛朱別川・愛宕新川②】

航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

路面標示

路面標示［国］・・・サイクリング利用時の視認性向上

牛朱別川の河川管理用通路と水辺へのアクセス通路の分岐箇所に、視認性の良好な路面標示を整備し、サイクリング利用者を確実に誘導する。

# 整備イメージ（案）【牛朱別川・愛宕新川③】

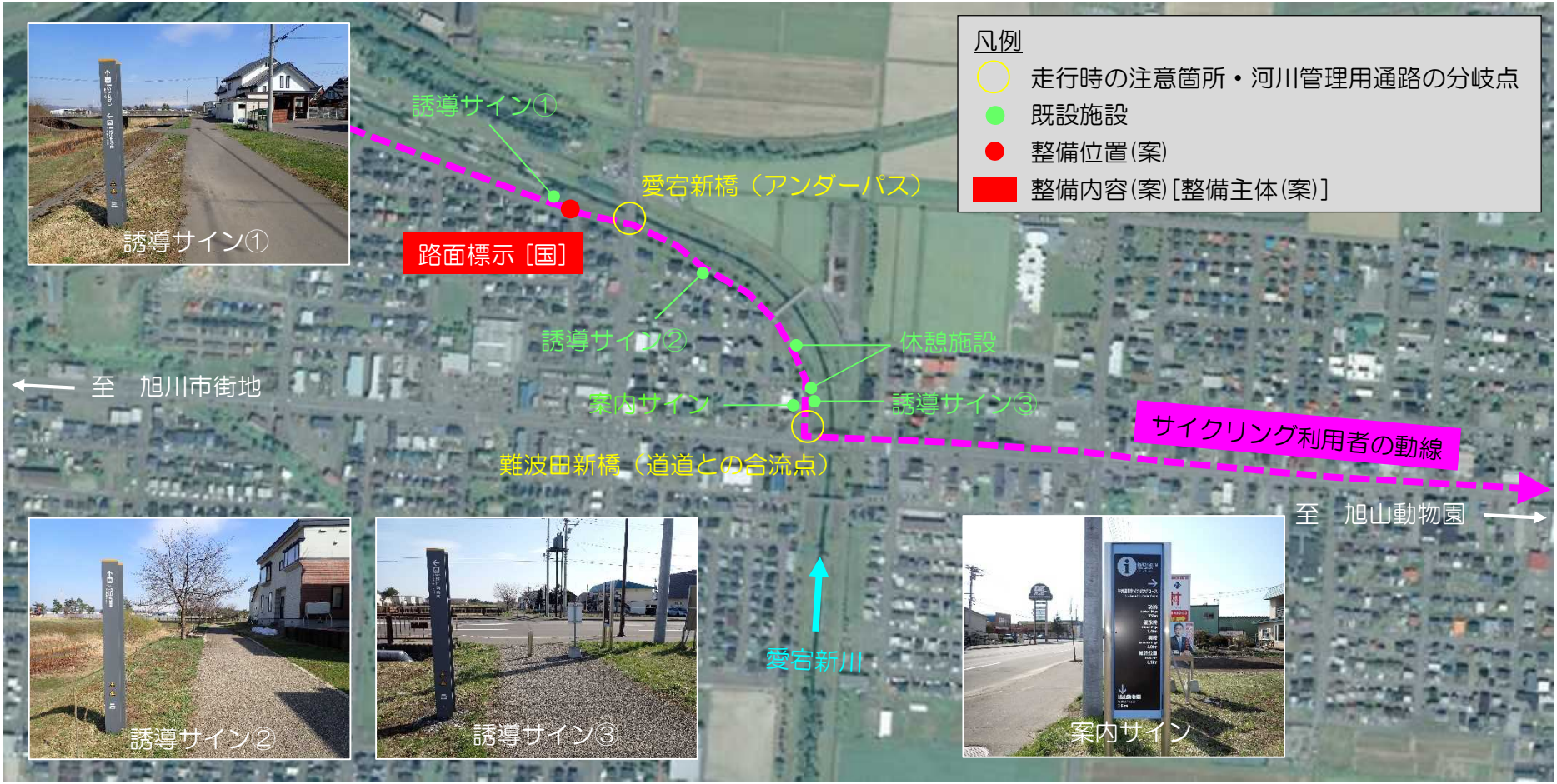
航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

路面標示

路面標示［国］・・・サイクリング利用時の視認性向上

牛朱別川の河川管理用通路と豊永橋のアンダーパス、愛宕新川の河川管理用通路の分岐箇所に、視認性の良好な路面標示を整備し、サイクリング利用者を確実に誘導する。

# 整備イメージ（案）【牛朱別川・愛宕新川④】



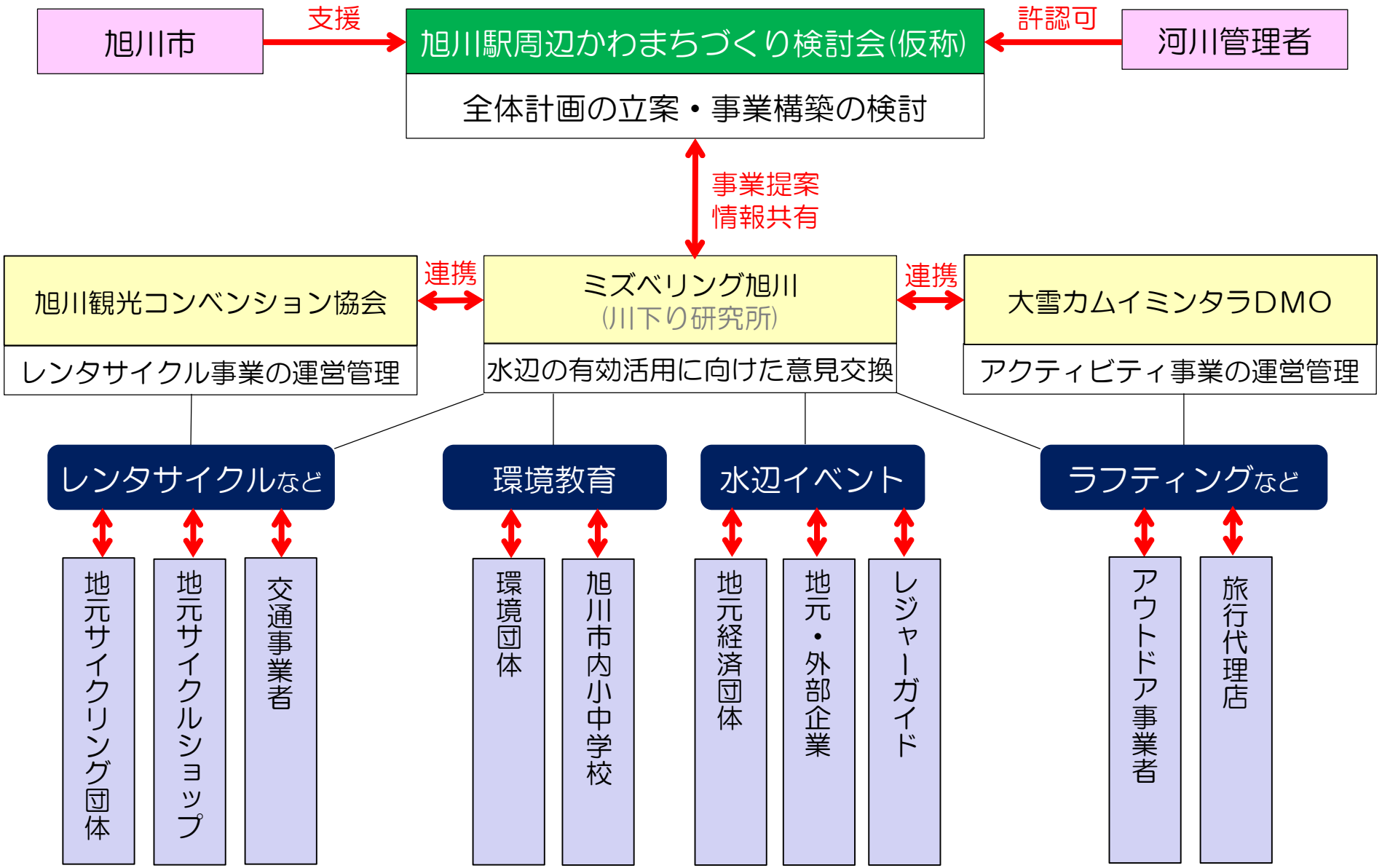

航空写真：NTTインフラネット「GEOSPACE 航空写真」

路面標示［国］・・・サイクリング利用時の視認性向上

愛宕新川の河川管理用通路と愛宕新橋のアンダーパスの分岐箇所に、視認性の良好な路面標示を整備し、サイクリング利用者を確実に誘導する。

# （３）推進体制（案）

# 推進体制（案）【目指す姿】


旭川市
支援
旭川駅周辺かわまちづくり検討会(仮称)
全体計画の立案・事業構築の検討
許認可
河川管理者
事業提案
情報共有
旭川観光コンベンション協会
レンタサイクル事業の運営管理
連携
ミズベリング旭川
(川下り研究所)
水辺の有効活用に向けた意見交換
連携
大雪カムイミンタラDMO
アクティビティ事業の運営管理
レンタサイクルなど
環境教育
水辺イベント
ラフティングなど
地元サイクリング団体
地元サイクルショップ
交通事業者
環境団体
旭川市内小中学校
地元経済団体
地元・外部企業
レジャーガイド
アウトドア事業者
旅行代理店

# （４）年次計画（案）

# 年次計画（案）

| 区分 | 河川 | 内容 | 実施主体 | 年次 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 |
| かわまちづくり懇談会 | | | 市 | | 推進体制・実施施策の具体的な検討・支援・評価 | | | | | | | | | | |
| かわまちづくり計画検討 | | | 国 | 策定 | 登録 | | | | | | | | | | |
| ソフト施策 | 忠別川 | 情報発信等 | 市 | | | 各種施策の検討・実施 | | | | | | | | | |
| | 牛朱別川 | 情報発信等 | 市 | | | 各種施策の検討・実施 | | | | | | | | | |
| ハード施策 | 忠別川 | 親水広場 | 国 | | | | 設計 | 工事 | | | モニタリング | | | | |
| | | 取付道路 | 国 | | | 設計 | 工事 | | | | | | | | |
| | | 案内看板 | 市 | | | | | 検討 | 工事 | | | | | | |
| | 牛朱別川 | 路面標示 | 国 | | | 検討 | 工事 | | | | | | | | |

# （５）今後の進め方について

# 計画申請までのスケジュール（案）

| 懇談会・関係機関協議等 | 各種検討 |
| --- | --- |
| 第1回懇談会【令和4年5月31日】<br>・水辺とまちづくりに関する基本方針の確認<br>・ソフト施策、ハード施策、推進体制等に関する意見交換 | 事務局で水辺とまちづくりに関する基本方針、ソフト施策、ハード施策の素案を検討。<br>意見交換結果を踏まえ、事務局で施策内容や体制案を精査。 |
| 第2回懇談会【令和4年8月24日】<br>・ソフト施策、ハード施策の確認<br>・推進体制、年次計画に関する意見交換 | 意見交換結果を踏まえ、9月末を目途に施策内容を決定し、10月末を目途に計画書原案を作成。 |
| 第3回懇談会【令和4年11月予定】※事前ヒアリング前に実施<br>・かわまちづくり計画書原案の確認 | 必要に応じて事務局で計画書原案を修正。 |
| 事前ヒアリング【令和4年11月】 | 事前ヒアリングでの指摘事項を踏まえ、必要に応じて事務局で計画書原案を再修正し、12月を目途に計画書最終案を作成。12～1月にパブリックコメント（意見公募手続）を実施 |
| 第4回懇談会【令和5年2月予定】※パブリックコメント後に実施<br>・パブリックコメント報告<br>・次年度懇談会の進め方に関する意見交換 | |
| 計画申請【令和5年5月】 | 必要に応じて計画書最終案を修正 |